

平成 22 年度再評価対象事業一覧表

(事業採択後、一定期間 (5~10年) が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)	備考
2	道路整備交付金事業 主要地方道 鳥栖朝倉線 事業主体：県 事業地：鳥栖市飯田町	本路線は鳥栖市曾根崎町の国道3号を起点として福岡県朝倉市山田の国道386号に至る重要な路線である。 本計画区間は、国道3号に結節し、交通量が多く、主要渋滞交差点である曾根崎交差点があるため、自動車交通に支障を来している。 また、基里小学校の通学路に指定されており、沿線には基里中学校や幼稚園、病院もあり、歩行者も多いが、歩道未設置区間もあり、危険な状況となっている。 さらに沿線の工業団地(グリーン・ロジスティクス・パーク鳥栖)が整備されており、産業の活性化にも寄与するものである。 以上のことから、現道拡幅及び自転車歩行者道の整備により、渋滞解消を図り、交通の円滑化と交通安全の確保を図る。	全体事業費：23.2億円 工期：H13～H23 事業内容 延長 L=1,310m 幅員 W=27.0(6.0)m 改良工 L=1,310m 橋梁工 N=2橋 舗装工 L=1,310m 測定 1式 用地補償 1式	H21末進捗率：約97% (事業費ベース) (年平均進捗率11%) ○用地補償は9割完了	・交通量の推移 H9 13,264台/日(基準) H11 12,175台/日(0.92) H17 13,077台/日(0.99) 沿線の工業団地「グリーン・ロジスティクス・パーク鳥栖」の分譲がほぼ終わりに近づくなか、進出企業の操業も始まり、今後、交通量の増加が予想される。	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。 B/C=1.7	(コスト削減) ・再生資材の利用促進を図っている。 ・工事で発生する残土を盛土等に流用する。 (代替案の検討) ・特になし	着手より10年経過のため再評価	継続 (理由) 事業の必要性に変化が無い。 現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。	

